



両 中 四 季



令和8年1月9日 第10号

明けましておめでとうございます

年末年始は、新潟特有の曇天の空にみぞれ混じりの日が多かったですが、比較的積雪が少なく、また自然災害等もなく、穏やかに迎えた2026年。皆様はどんな新年を迎えたでしょうか。学校は、13日間の冬季休業を終え1月7日（水）に教育活動をスタートしました。友との再会に笑顔する生徒、自信をもって課題を提出する生徒、早くも真剣に授業に臨む生徒等、それぞれの姿からは充実した冬休みの様子がうかがえました。



今年は、丙午（ひのえうま）。「太陽のような明るさ」「まっすぐ進む力強さ」等が特徴的であるといわれています。様々な困難に負けず、自分の夢や目標の実現に向け、精一杯努力する年にしてほしいと願っています。



【1月7日全校集会より抜粋】

「親しき仲“にも”礼儀あり」から「親しき仲“こそ”礼儀あり」へ。お互い気心の知れた幼馴染、ファミリーのような関係といわれる両中生ですが、周りの大人からすると、目に余る振舞いだったり不適切な表現が聴こえてきたりすることがあります。それによって、知らず知らずに周りに不快な思いをさせてしまうこともあります。大切な仲間、一生の友だから“こそ”、今一度、相手を思いやり、互いにリスペクトする関係性を大切にしてほしいと思っています。そのために意識してほしいことを5つ。

- ①明るいあいさつ～社会生活のきほん。いつでもだれにでも、気持ちよく。
- ②ありがとう～感謝の言葉がたくさん飛び交う空間は素敵ですね。
- ③傾聴（けいちょう）～自分意識から相手意識へ。興味をもって、うなずきながら。
- ④ジョハリの窓～仲間の良いところを見つけよう、伝え合おう。「2年：道徳授業」より
- ⑤ポジティブマインド～何事も明るく前向きに！そんなところに人は集まります。

3年生は新たな世界に飛び立つ準備として、1・2年生はさらに一段上の集団形成に向けて、残りの3か月を大切に過ごしてください。先生方は、皆さんの夢や目標の実現を精一杯サポートしていきます。



新潟県ジュニア美術展 佳作



- | | |
|------------|---------|
| 1年 大野 颯音さん | 渡部 真緒さん |
| 2年 石附 蘭さん | 本望梨衣子さん |
| 3年 青木 琴芭さん | 藤田 愛桜さん |
| | 村山 惇南さん |